

◆ 第13回 沼津市中心市街地まちづくり戦略会議

<p>会議次第</p>	<p>1 開会 2 委員紹介 3 事務局からの説明 (1) (都) 三枚橋錦町線道路空間（パークレット・ゼブラ帯）の利活用について (2) 駅前交差点南北地上横断化及び実践広場について (3) 新たな情報発信について (4) 長期的な整備に向けた検討について 4 意見交換 5 閉会</p> 
<p>委員の 主な意見</p>	<p>【(都) 三枚橋錦町線道路空間（パークレット・ゼブラ帯）の活用について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パークレット設置に伴うゼブラ帯の活用について、駐輪場の設置には疑問である。一度駐輪場を設置すると、その先の展開につながらないように思う。よりポジティブな活用を期待する。駐輪場は撤去するときに反対意見が出る可能性がある。 ・高校生を安価な労働力として利用するのは良くないため、適宜フィードバックをもらい、やりがいを感じられるようにしてほしい。 ・ゼブラ帯の中は人が入れる場所にするのか、キッチンカーが入れる場所にするのかによって、活用の仕方が大きく変わる。 ・パークレット周辺への出店・参加についての早い段階での環境整備が必要である。 ・駐輪場を作るのは望ましくないと思っている。一時的な電動キックボード等の設置は良いと思うが、常設的に設置することに対して疑問を感じる。カーブサイドマネジメントとして、例えば、若手のチャレンジオープンキッチンで活用し、うまくいけば歩道内での出店を認める等のさらなる使い方の議論が必要。 ・駐輪場設置については否定的な意見が多いため、再検討してほしい。 ・現状かなり風が強いので、駐輪場運用に当たっては最悪の状況を想定すること。また、様々な自転車が止まることから、見た目が美しくないように思う。せっかくのパークレットの綺麗なイメージが崩れてしまわないよう留意願いたい。 <p>【駅前交差点地上横断化及び実践広場について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地上横断化に係る道路は、都市計画上は交通量が多い整理がなされている。長期の交通シミュレーションを確認しているとのことだが、関連する計画等も整理し、都市計画上・交通計画上問題ないか確認すること。 ・UR都市機構の敷地活用について、将来的にリビングラボのようなものができればよい。地域で情報交流し、新しいプロジェクトが生まれるようにしていく必要がある。 <p>【新たな情報発信について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報プラットフォームの取り組みを進めるうえで、まず、庁内の横の連携が重要である。沼津市はMINTO機構からのファンドでまちづくり助成を実施しており、まちづくりに関心のある団体等がアクティブに活用しているため、継続してほしい。 ・情報の交流の視点が重要である。市が提示する情報についての市民からのレスポンス等を受けとめる行政の体制構築が必要だと思う。情報プラットフォームについては運営事業者に丸投げにならないようにすること。駅前の取り組みを幅広い市民に理解してもらえる状況を作れるとよい。 ・市民に中心市街地全体の取組が分かるようにすることが必要。相互参加的な運用を願いたい。 ・市はX-Tech NUMAZUを立ち上げているが、今回検討しているプラットフォームをスマートシティの大きな考え方の中に位置付けるのが良いと思う。

【長期的な整備に向けた検討（駅舎デザインの検討会）について】

- ・ 鉄道の高架化は 15 年程度先の予定なので、その間にデザインの考え方やまちの状況も変化する。デザイン検討会の検討内容を駅舎の設計に柔軟に反映していきたい。見た目だけでなく、使い方を含めて議論するのが大切。
- ・ 防風スクリーンの設えは、まちのコンセプトに合ったデザインで地元の人に愛されるようなものがよいと思うが、予算等も考慮しながら議論できればよいと思う。
- ・ 柱の位置等も駅周辺の空間に大きく関わる事項である。空間配置や駅の出口を駅広場のどこに接続するか等が議論の中心となるのではないか。

以上